

Title	マルチECDを用いたHPLCによる神経伝達物質の分析
Sub Title	
Author	高井, 信治(Takai, Nobuharu) 篠塚, 則子(Shinozuka, Noriko) 佐久間, 一郎(Sakuma, Ichiro) 真重, 文子(Mashige, Fumiko) 大久保, 昭行(Okubo, Akiyuki) 和田, 博夫(Wada, Hiroo) 金沢, 秀子(Kanazawa, Hideko) 永田, 佳子(Nagata, Yoshiko) 松島, 美一(Matsushima, Yoshikazu)
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1993
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.38 (1993.) ,p.50- 50
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	抄録
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000038-0050

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

マルチ ECD を用いた HPLC による神経伝達物質の分析*

高井信治**, 篠塚則子**, 佐久間一郎***, 真重文子****, 大久保昭行****,
和田博夫****, 金沢秀子, 永田佳子, 松島美一

電気化学検出器 (ECD) は酸化還元反応をする化合物の高速液体クロマトグラフ (HPLC) 検出に使われてきた。複数の ECD を組合わせたマルチ ECD は今後臨床分析の有力な手段と考えられる。電極材料の開発, セル室の構造の研究を行い, 4 チャンネルのグラッシーカーボン電極 (参照電極: Ag/AgCl) を持つマルチ ECD を試作した。このマルチ ECD は高感度で安定性が高く、保守が容易であった。この装置により神経伝達物質の分析を試みた。18 種の標準物質溶液, イヌの髄液および尿を資料としてよく分離されたクロマトグラムが得られた。

* 本報告は生産研究, 44 (10) 486—489 (1992) に発表

** 東京大学生産技術研究所

*** 東京電機大学

**** 東京大学医学部